

議は専断閣議七に在り其の獨断專行するところにして、
議業と共に福岡より八名市内より十数名の遊轉手を臨時
雇入れ議業當日より二十畫内外を以て交際を支障なき程
度の遊轉をなし尙爭議閣議側の策動に對して臨時會員
約二十名を雇入れ各自自動車に乗り込みましむる等専ら挑
戰的態度を採つたのである。

○ 會社内における内証

岡事務の態度強硬なるが爲爭議閣代表は更に二十四日午
前九時社長を自宅に訪問會見の上要求事項の容認方を款
願したるところ、從來岡事務の專横を快よしとしなかつ
た宮原社長は爭議閣側の要求に對し誠意を披瀝し且つ自
派に屬する地方顔役に斡旋方申込みを促すと共に此機會
に於て岡事務を排斥し社内の刷新を企圖せんとするが如
き態度に出たのである。従つて爭議閣側は右顔役の訪

問、演說會の開催（二十五日夜）等に依り氣勢を擧げ事
ら一般市民の同情を得るに努めたのである。

然るに一方専断閣議七は實政派幹部（顔役）一統の爭議閣
援助を以つて社長の自己排斥計劃まりと察知したので
最近宮原社長が民政黨を脱し國民同盟に入り其の最高幹
部に在りて此際國民同盟の勢力扶植に資せんとするもの
となし私に民政黨有志の應援を求めたのである従つて此
無放任せんか本等議は民政黨閣議の政争に轉化し且つ兩
派共地方顔役を擁つて對立抗争の形勢を示さんとするに
至つたのである。

4 門閥警察署長の請停

かくて専断の請料を要するに至つた門閥警察署長は二
十六日午後六時半議閣側代表及社會黨側代表を夫々召集
し妥協を勸め議案を罷いたつて會社側の態度軟化し遂に